

# まちの「友だち」 つながろう！町公式LINE

←使い方は次のページから！



**皆**さんは知りたい情報がある時、どんな方法を使っていますか？よく使われているのは紙の媒体ですが、スマートフォンからSNSを見ている人も少なくないでしょう。

洞爺湖町をはじめ、全国のまちでもSNSは活用されています。その中でも積極的に使われているのが、スマートフォン「ユーザー」にはおなじみのアプリ「LINE」<sup>ライン</sup>。今、多くの自治体を利用者のニーズに合わせた公式LINEを運用しています。

町の公式LINEでは、イベントや行政サービスのほか防災など利用者が求める多彩な情報を発信。日々の暮らしを便利にする機能も充実させており、これまではできなかった新しい方法で町とつながっています。

この特集では、公式LINEの活用方法や町が発信している情報などを紹介します。まだ使ったことがない人はぜひ参考にしてください！

## 1 LINEってなに？

LINEとは無料で使えるコミュニケーションアプリです。相手を「友だち」に追加することで文章や写真、動画の送信などが行えます。速報性や様々な情報を送れる利便性から企業や自治体での利用も広がっています。

## 2 洞爺湖町とLINE

町が公式LINEを開設したのは2021年3月。お知らせを発信するだけのシンプルな内容でしたが、24年9月にリニューアル。利用者ごとに欲しい情報だけ届くよう選択できるセグメント配信や、メニュー画面から様々な情報を得られるようになりました。

## 3 LINEの「友だち」

LINEでメッセージのやり取りや通話ができる相手のことです。利用者ごとに連絡を取りたい個人やグループを登録すると「友だち」になります。





— case 01 —

## 学びをつなぐ

### LINEで通学の足を予約

LINEといえば、チャット形式でのメッセージのやり取り。家族や友人とのコミュニケーションによく使われていますが、町の公式LINEでは、メッセージの配信以外の機能も充実させています。そんな町のLINEを自分の生活に合わせて便利に使っている高校生たちがいます。

午前5時50分、とうや水の駅。まだ人気の少ない早朝の町中に高校生が集まってきました。通学先は町外。そのため、JR洞爺駅で普通列車に乗って通学しています。

水の駅から洞爺駅までの移動に使っているのは、町が運営している「とうやコネクタクシー」。利用者ごとに必要な乗車場所・利用時間の予約は、町のLINEからできるようになっていきます。

「いつも1カ月分の予約

をまるごと入れていきます」と話し、LINEから開ける予約画面を見せてくれた

高校生たち。自宅からの送迎にきた保護者からは「洞爺からの通学に使える交通手段はコネクタクシーしかないのです、子どもたちで予約できるのは助かっています」と話します。

町のLINEからはコネクタクシーに加え「洞爺地区コミュニティタクシー」の予約も可能。生活に欠かせない日々の足を、町のLINEがつかないでいます。



### 欲しい情報だけ選んで使える 町公式LINE

町のLINEがリニューアルで大きく変わった点はセグメント配信に対応したこと。利用者ごとに欲しい情報だけを選び、要らない情報が来るわずらわしさを解消できるようにしました。右に選択できる情報の種類を紹介します。自分に合った組み合わせを考えてみましょう。

#### ①住民向け情報

子育て（幼児向け）、子育て（小学生・中学生以上）、ごみ・リサイクル、健康、防犯、くらし、高齢者向け、福祉、議会

#### ②観光・イベント情報

観光、イベント、広報、移住定住

01



つながる！とうやコイン

メニュー画面からとうやコインメニュー画面からとうやコインホームページやコインが使える店、来館コインの対象施設をすぐ確認できます。



— case 02 —

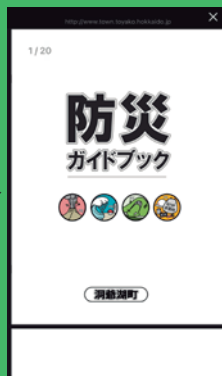
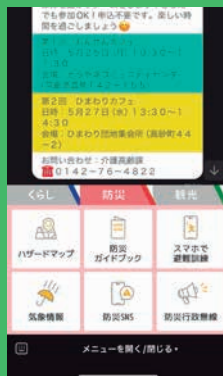
暮らしの便利をつなぐ

02



つながる！防災情報

地震などの自然災害で避難所を開設した時はLINEでいち早く情報発信。メニュー画面から防災SNSの確認もできます。避難方法などをまとめた防災ガイドブックやハザードマップも公開しています。



03



つながる！暮らしの便利

ごみ収集日の確認や住民票や各種証明書の申請など暮らしをサポートする機能も用意しました。フルカラー化したweb版の広報とうやこも読むことができます。



04



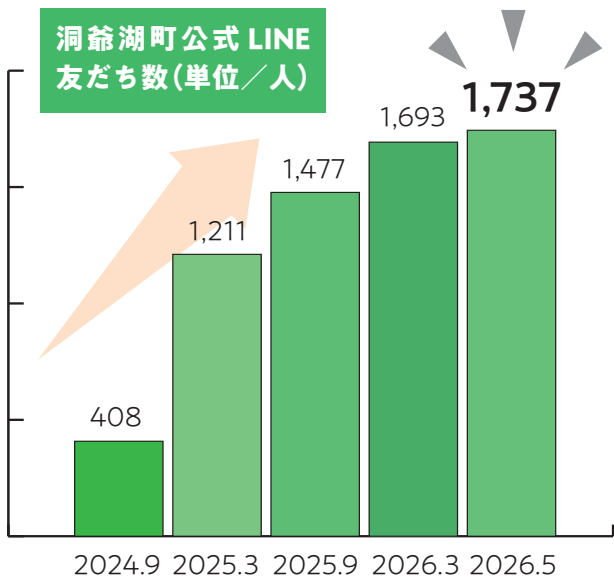
つながる！新情報

イベント情報や町からのお知らせ、職員募集など様々な情報を発信中。利用者ごとに欲しい情報のみを受け取り、不要な情報は届かないように設定することもできます（詳細は7ページ）

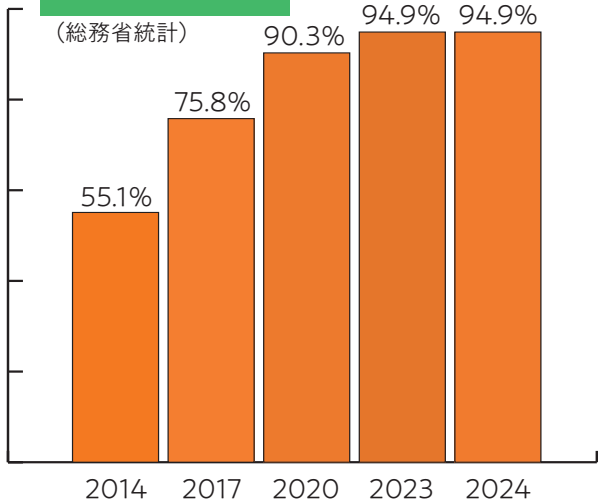


町のLINEの活用方法はメッセージの受信と交通予約に限られません。その他の便利な機能を紹介します。

洞爺湖町公式 LINE  
友だち数(単位/人)



国内 LINE 利用率



# つながり続ける まちと友だち

増えてます！まちの友だち

2024年9月に行われた町のLINEのリニューアル。当初の友だちの数は400人ほどにとどまっていたましたが、今年5月1日時点では1737人と4倍以上に増加。LINEを紹介した友だちの輪が広がりに続けています。

友だち数の推移を見ると、増えている理由が見えてきます。始めのきっかけとなったのは、町独自のデ

ジタル地域通貨「とうやコイン」のスタート。25年1月の開始時に町のLINEで周知すると、友だち登録するユーザーが連日現れました。

その後も町の新たな事業や多彩な情報の発信を続け、友だちの数は右肩上がりを続けています。速報性や、スマホがあればどこでも情報につながるの利便性など今後もLINEの強みを生かして情報をお知らせします。

見られているのはどんな情報？

## 調べてみました！ 町公式 LINE の注目情報

これまで様々な情報を発信してきた町の公式LINE。どんな情報が特に友だちの関心を集めたのか調べてみました！（メッセージ配信で添付したURLをクリックした人数を計測）

2025 1/14

### 「とうやコイン利用開始」

町独自のデジタル地域通貨「とうやコイン」の開始には多くの友だちが注目。特設サイトや利用ガイドなどを配信し、1,275人中556人が内容を確認してくれました！



2025 10/1

### 「ライドシェアドライバー募集」

一般のドライバーに町が運行する車両を走らせてもらう「ライドシェアタクシー」の開始を前に、ドライバーを大募集！約500人が興味を示してくれました。



2026 4/10

### 「広報とうやこ4月号」

虻田中学校が虻田小学校に移転するため、表紙は歴史ある校舎での最後の卒業式を掲載。懐かしさも手伝ってか、430人以上にWeb版を読んでもらえました。



# 友だち登録 しませんか？

募集中！まちの友だち

増え続けている町のLINEの友だちですが、町の人口はおよそ7700人（4月末現在）。ほとんどの人にスマホが普及していることを考えると決して多くはありません。

最後に友だちの登録方法を紹介します。町はLINEの利点を生かして今後も様々な情報をお届けする予定です。今まで知らなかった町のことに触れる機会が少しでも増えるかもしれません。町のLINEに興味があれば、ぜひ一度使ってみてください！

1

## まずはアプリをダウンロード

現在使用しているスマートフォンにLINEアプリが入っていない場合は、右の2次元バーコードをカメラで読み取り、アプリをダウンロードしてください。



2

## 「洞爺湖町」を友だちに追加

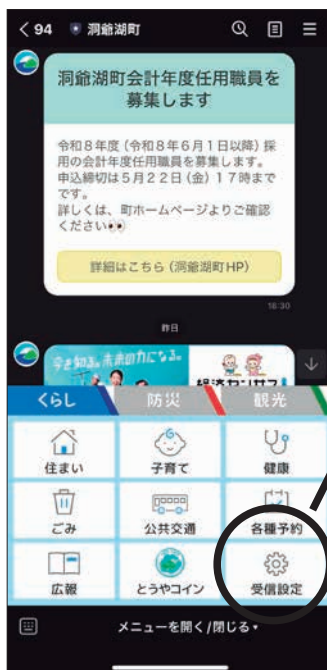
LINEアプリを開き、ホーム画面の検索欄に「洞爺湖町」と入力・検索してください。町公式アカウントが表示されますので「追加」ボタンを押すと友だち登録されます。



3

## 使いやすいように受信設定！

洞爺湖町を友だちにしたらぜひ受信設定を行ってください。欲しい情報の種類を登録することで、不要な情報が届かないようにすることができます。



### POINT 受信設定は正確に！

受信設定画面の「お住まいの地域」で町内・町外の選択欄がありますが、どちらを選ぶかによってメニュー画面の表示項目や届く情報が異なります。町民向けの情報や機能が多数ありますので、町内在住の場合は入力誤りがないようご注意ください。

